

日刊 磐城時報

編輯 石城郡平町 印刷 石城郡平町
電話 石城郡平町 電話 石城郡平町
石城郡平町 電話 石城郡平町
石城郡平町 電話 石城郡平町
石城郡平町 電話 石城郡平町

紀元節をトして 在滿軍人を慰問

募集した慰問金から 一人宛五圓宛郵送

平町では昨年一般から募集した
滿洲派遣兵慰問金中から一千百
八十五圓を割き十一日紀元節の
日をトし石城郡出身在滿軍人二
百三十七名に對し一人五圓宛を
郵送して慰問した。

玉川村で 國防決議

石城郡玉川村在郷軍人分會主催
の國防思想普及講演會は分會員
男女青年團、處女會員等四百余
名參會の下に去る十一日の紀元
節を期して同村小學校に於て開
かれ山齋少佐の軍事講演につぎ
左の決議を行った。

長瀬組頭代理 表彰さる

平町の貧困者は嘆報の如く餓死
線上を彷徨し悲惨な日を送つて
ゐるので附近の人々は見るに見
兼ねて平町役場、警察署に救
濟方を願ひ出るものが毎日三四
件に達して居るが十三日も左
の如き願出があつた。

昨年最高漁獲船 江名の榮福丸

三月上旬優勝旗授與

本縣水産會では昨夏中最高漁獲
船に優勝旗を授與すべく調査中
から赤土會長臨席の上同小學校
の處下第一等は石城郡江名濱に
おいてこれが授與式を舉行す
漁業家澤辰之助所有榮福丸(一
船長吉田仁平氏)の二萬二千羽
庄太郎氏所有第一稻荷丸の一
百七十四圓七十九錢と決定した
萬四千八百九圓で尙各漁獲高
ので總選舉の關係よりおきに見
れば江名濱二十一萬九百五

差押えた物品を 稅務係員持て余す

公賣を行つても入札なし 結局縣で買上げか

石城郡各町村財界不況のため諸
稅の滞納が多くなり係員は手古
摺つてゐる事屢報の如くで當局
では斷然差押えを行つたが之が
公賣を行つても入札する者がな
く平稅務出張所では差押えた六
町新川町木村病院に入院加療中
の二男山崎忠二氏は病氣のため平
公賣を行つても入札する者がな
く平稅務出張所では差押えた六
町新川町木村病院に入院加療中
の二男山崎忠二氏は病氣のため平

昨夜逝く

山崎忠二氏

石城郡飯野村谷川瀬山崎吉平氏
の二男山崎忠二氏は病氣のため平
公賣を行つても入札する者がな
く平稅務出張所では差押えた六
町新川町木村病院に入院加療中
の二男山崎忠二氏は病氣のため平

長橋町の貧困者に 附近の人々が同情

子供がデフテリアに罹り 注射代にまごつく

平町の貧困者は嘆報の如く餓死
線上を彷徨し悲惨な日を送つて
ゐるので附近の人々は見るに見
兼ねて平町役場、警察署に救
濟方を願ひ出るものが毎日三四
件に達して居るが十三日も左
の如き願出があつた。

民政派の 監視員活動

石城政民兩部會では今回の政
に監視員を設けることになり十
二日より各派各町村十名乃至二
十名を兩總裁の名を以て二千五
百餘名を任命した監視員は十五
本年から同方法によつて米國其
も小選舉時代積、達の野で栗
山氏と争つて敗れ、前回は松
本孫右衛門氏の身代りに起つ
て落選し、選舉では不遇の地
許り歩いて居た。今回は前回
の雪辱戦の意味で敢然出馬し
双葉、相馬兩郡を唯一の地盤
として日夜奮闘を續けてゐる
が、何しろ強敵氏家清氏との
對陣であるため常に壓倒され
状態であつた。然し佐藤候補が
『政治生活の最後である』と悲
壯なる決意を知つた人々は佐
藤氏に最後の花を咲かせ過去
四十間の政治的功勞に酬へや
うと同情的に活動を續けてゐ
る同志多く石城郡に於ては又
同様の同情を有して居る人が
多いから今回こそ見事當選の
榮冠を握るであらうと察せら
れてゐる。

身不知柿 貯藏に成功

石城身不知柿の第二回試驗貯藏
を昨年十一月十八日試みた縣農
事試驗場石城分場では八日、八
十三日目で一部開罐した處が六
十八個中九十九パーセントが貯
藏當時と全然變らず水々しい儘
で取出されたので稲田場長以下
此の大成功に狂喜してゐるが、
是により多年難事業とされた、
生柿の永久貯藏がみられた譯で
本年から同方法によつて米國其
も小選舉時代積、達の野で栗
山氏と争つて敗れ、前回は松
本孫右衛門氏の身代りに起つ
て落選し、選舉では不遇の地
許り歩いて居た。今回は前回
の雪辱戦の意味で敢然出馬し
双葉、相馬兩郡を唯一の地盤
として日夜奮闘を續けてゐる
が、何しろ強敵氏家清氏との
對陣であるため常に壓倒され
状態であつた。然し佐藤候補が
『政治生活の最後である』と悲
壯なる決意を知つた人々は佐
藤氏に最後の花を咲かせ過去
四十間の政治的功勞に酬へや
うと同情的に活動を續けてゐ
る同志多く石城郡に於ては又
同様の同情を有して居る人が
多いから今回こそ見事當選の
榮冠を握るであらうと察せら
れてゐる。

讀者論談 應援辯士

選舉も益々第二期戦に入つて
各共見發表演説なるものが
行はれ學校寺院の使用が頗
る繁忙を極めてゐる。而して
その演説會なるものを聞いて
見るが實に下らないものである
だ。喉痛者自身はこれは別問題
だ。一番呆れ返るのは應援辯
士といふヤンだ。

候補者の面影

雪辱戦の意味で 惡戦苦闘の佐藤氏

自由黨以來の政友派長老

前回の雪辱戦の意味で第三區
から政友公認候補者として名
乗りをあげ相馬、双葉兩郡を
中心として奮闘してゐる佐藤
庄太郎氏は石城郡神谷村大字
中神字瀬戸八十八番地に居
住し明治三年二月十日生れ
本年六十三歳である。十八九
歳から政治に志し犬養總裁と
は青年時代から友人である。
石城郡上野村赤坂龜次郎翁
が最初に代議士候補の名乗り
を擧げた時に駆け付けて選



に參加し
たのが始
まりで自
由黨に身
を投じて
縣政友會
の爲に寝
食を忘れ
て奔走し
支部幹事
長の職に
あつた。前
後通じて
七年、名
幹事の名
を博して
居たが、
縣會議員
二期で常
に犧牲候
補となり
落選も三
回、また
衆議院

に參加し
たのが始
まりで自
由黨に身
を投じて
縣政友會
の爲に寝
食を忘れ
て奔走し
支部幹事
長の職に
あつた。前
後通じて
七年、名
幹事の名
を博して
居たが、
縣會議員
二期で常
に犧牲候
補となり
落選も三
回、また
衆議院

チフテリア發生

平町南町二三鈴木方高田ノツ
(四ツ)は十二日チフテリアと決
定隔離された。

風味獨得な 魚清のなべ類

例年の通り始めました。

鳥なべ	御一八前	三十五錢
ちりなべ		三十五錢
よせなべ		三十五錢
ねぎまなべ		三十五錢
かきなべ		三十五錢
はもなべ		三十五錢
あんこなべ		三十五錢

出前も迅速にいたします

平町三丁目 魚清食堂
電話六三三番

和洋銅鐵金物問屋



金屋商店

諸橋久太郎
電話九九番

冬服荷揃ひ

細色柄物 ↓ 三ッ揃 拾貳圓
 最新柄 ↓ 三ッ揃 拾三圓五十錢
 スコッチ ↓ 三ッ揃 拾三圓五十錢
 最上紺黒 ↓ 三ッ揃 拾六圓五十錢
 サージ ↓ 三ッ揃 拾九圓
 高級品 ↓ 三ッ揃 拾九圓
 ウィステット ↓ 三ッ揃 拾九圓

平町正札堂洋服店 電話四三六番

外科 花柳病科 専門

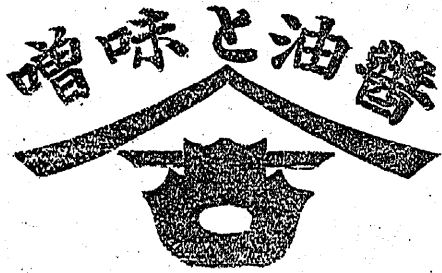
平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番



一日一錠 僅五錢
治療 秘・効の越卓・便簡・價安
すで薬想理たつ揃つ四

◎こんな徴候の人々は一時も早く治療すべきです
 ●血帯下、赤帯下、コシケ多き人 ●下腹痛く筋張り又は
 つる人 ●子宮冷感、腰脚の冷え又は痺れる人 ●月經不順
 月經時に腹痛の痛む人 ●神衰衰弱、ヒステリックの人 ●月
 時の前後に白濁したこしげが下る人 ●子宮毒、淋毒、意類
 人 ●子宮痛、腰痛、出血する人 ●肩が凝り又は背が痛む人 ●洗
 頭痛、耳鳴、眩暈する人 ●肩が凝り又は背が痛む人 ●洗
 早産する人 ●定價 一週分一・八〇 二週分三・五〇
 五週分一・八〇 十週分三・五〇

代理店 平町五丁目角 山野邊藥局



明治生命 磐城代理店 山崎與三郎

山崎合名會社
電話(安部部専用)一〇番
一一般用)二七番
浜松東京一九七五番

心安積蓄 利益通融

三井無盡

許免臣大藏大

社會盡無用信本湯

番七四話電

腸胃 皮膚病 淋病 婦人病 皮膚病

院醫科腸胃村松
(七〇一話電) 町南町平

カクテル
イキタヒコテン552
イストラサロン

推薦

立憲政友會 公認候補者 鈴木辰三郎君

此度の選挙に際し鈴木辰三郎君を推薦せんとするは當に
 同氏が本郡に於ける我が黨唯一の公認候補者たるのみな
 らず更に他の理由の存するものに有之候
 御承知の通り同氏は夏井村の農家に生れ獨學自修研鑽意
 らず年餘僅か貳拾代にして郡會議員に擧げられ更に縣會
 議員に當選する事數次今や縣政を統帥する名幹事長とし
 て其の才幹は吾人の等しく認識する處にして同氏の聲望
 旭日昇天の概あるは如何に同氏の手腕力量が尋常一傑の
 器に非ざる事を雄辯に物語る證據にして梅檀は二葉より芳
 しとは正に同氏を適評するものに候
 實に同氏は獨立獨歩幾多の困難と戦ひ刻苦勉勵今日の地
 歩を得たり然れ共同氏の眞價は過去に非して未來に屬す
 蓋し過去の経歴が將來を豫斷する最良の羅針盤なりとせ
 ば同氏の將來の發展向上も畧想像に難からず候、況や同
 氏は前途春秋に富む有爲の士なれば一度議政壇上の人た
 らんか平々凡々月並の一陣登として埋るものに非ず必ず
 や天下に「鈴木」ありとの存在を明かにし懸て驚天動地の
 仕事をなし貴下の御負托に背かぬ事必定と存候
 夫は同氏を親しく熟知する人の何人も同感とするところ
 而も同氏は仁俠に富み満身是れ血と熱の結晶にして政治
 家としての天才的素質は十二分に具備するもの候
 小生は同氏の先天的天才を遺憾なく發揮せしめ以て將來
 ある同氏の前途を有意義たらしめ度敢て貴下の尊き一
 票を懇望する次第に御座候 敬具
 昭和七年二月十一日
 平町才隼小路三十番地
 阿部政右衛門
 第三區有權者各位

貸切御用命

ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番
乗合は 好問合戸澤渡方面行